

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2013年12月 7日(土) 10時 00分～15時 00分		
場所	金ヶ崎公園		
参加者	エコウイング会員/6名、団体会員(明石高専)/11名、事務局/1名		計18名

● 午前

今日は、今年最後の里山整備活動でした。エコウイングあかし団体会員の明石高専から先生・学生合わせて11名の皆様が活動に参加されました。午前中、2班に分かれて散策路の第三期工事の最終仕上げと、第一期工事区間の入り口の斜面に階段を作りをしました。若い高専の学生さんに元気をもらって、楽しく活動ができました。これで、昨年(2012年)6月から1年半にわたって続けてきた散策路造りが完成しました。公園を訪れる皆様に、末永く愛用していただきたいものです。

昼休みには、メンバーの脇さんご夫妻から差し入れていただいたカレースープを、参加者全員で昼食に美味しくいただきました。外は12月の寒さでしたが、身も心も温まったひと時でした。

● 午後

午後は、参加者全員で完成したばかりの散策路など、公園内を巡りました。散策路のネーミングをイメージしながら歩いてもらったので、次回の活動のときには素晴らしい名前が決まると思います。

高専の学生さんの散策路作り風景(その1)



同 (その2)



完成した散策路の三期工事区間(その1)



同(その2)



昼休みのカレースープの配膳



カレースープを食べながら談笑中の学生の皆さん



完成した散策路で記念撮影。笑顔がいっぱいです。



紅葉の中を散策するメンバー



● 次回：2014年1月11日(土) 定例活動。

今回は、正月休みを避けるため、第2土曜日の活動になります。新年最初の活動です。完成した散策路の名前を決めます。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、素晴らしい冬晴れに恵まれ、ふもとの北浦池の水面に映る青空と里山が見事なコントラストを見せてくれました。その北浦池には、カルガモ、マガモ、アオサギの姿を観察しました。公園奥では、枯れススキの穂にホオジロが止まっていました。そのほかに、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ヤマガラ、メジロを確認しました。冬鳥のシロハラも見つけましたが、撮影はできませんでした。

冬になったので、昆虫はほとんど姿を見せませんでした。薄茶色の翅の、小さな蛾がたくさん飛び回っていましたが、これも写真には撮れませんでした。そんな中で、アベマキの大木の幹にヨコヅナサシバメがたくさん集まっているのを観察しました。

植物では、マンリョウが赤い実をつけ、狂い咲きのモチツツジも観察できました。公園内のあちこちでモミジが色づいていました。コナラやアベマキの落ち葉の降り積もった中のモミジは、晩秋の風情の名残です。

北浦池で泳ぐカルガモ。マガモも1羽います。



池のほとりに集まるカルガモの群れ



北浦池のアオサギ



枯れススキの穂に止まるホオジロ



狂い咲きのモチツツジ



たくさんの赤い実をつけたマンリョウ



アベマキの幹に集まるヨコヅナサシガメ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

初冬の里山の風情を残す北浦池。雲ひとつない青空に、ひととき鮮やかです。



公園内のモミジは、美しく色づき、まさに見ごろでした。コナラやアベマキの落ち葉の降り積もった中の鮮やかなモミジの姿は、金ヶ崎公園の代表的な風景と言っても良いでしょう。

